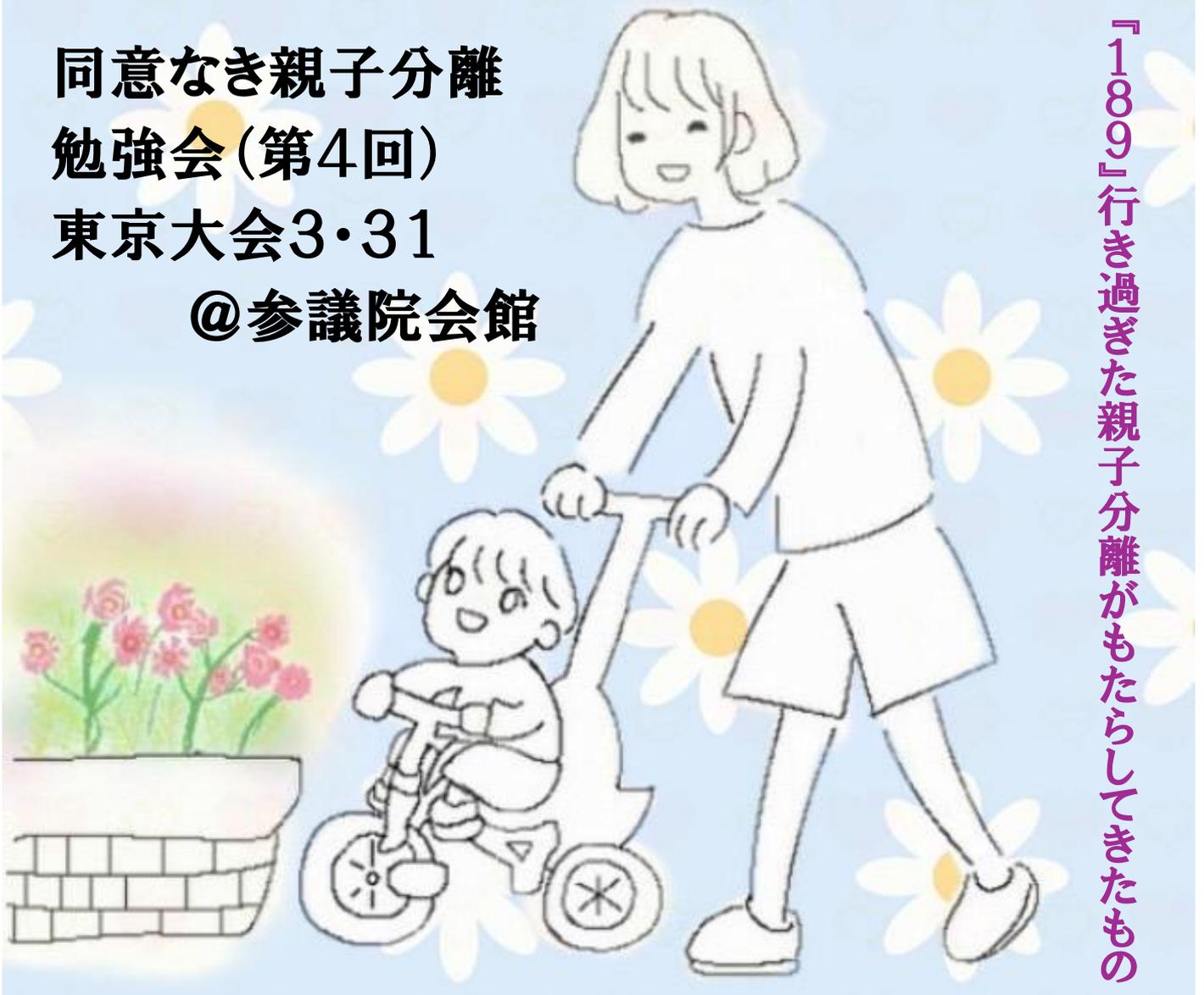


# 同意なき親子分離 勉強会(第4回) 東京大会3・31

@参議院会館



『189』行き過ぎた親子分離がもたらしてきたもの

日時：2026年3月31日(火)10時半～16時半

会場：参議院会館 地下1F 会議室 会議室名は調整中

テーマ：『189』行き過ぎた親子分離がもたらしてきたもの

対象者：児童に関わる課題に取り組んでいる団体の皆さん、  
医療・福祉・教育等分野の専門職、関心を持っていただいている  
国会議員、地方議員、当事者の皆さん

参加費：会場参加一人 2,000 円、リモート参加一人 1,000 円

主催：一般社団法人子どもと人権プラットフォーム

問い合わせ：kodomojinken.pf@gmail.com

申し込みは以下から



申し込みは以下から

<https://forms.gle/9JG2xkxggRL76B8M8>

今回の勉強会は、児童の課題に取り組んでいただいている方々、関心を寄せていただいている政治家の皆さんに向けて、行き過ぎた親子分離がもたらしてきた現実を知っていただくための企画です。

行き過ぎた親子分離の実態とそれはなぜ起きているのか？解決のためには何が必要か？を考えるプログラムを提供します。過去、東京大会2回、大阪大会1回を経て通算4回目の勉強会です。

プログラム

【午前の部】

10時半～主催者挨拶

10時40分～基調報告 岩波初美

(一般社団法人子どもと人権プラットフォーム 代表)

「虐待かも？躊躇せず189は児童の最善の利益か？」

母子家庭、母を思う高校生が校長の許可を受け、放課後アルバイトで家計を助ける、それが児童を働かせて搾取している虐待母親と認定され、我が子2人が共に施設に送られ、一切の面会を制限されてしまう、家族の助け合いは虐待なの？このような理解し難い現実と日々遭遇してきた県議会議員（元職）としての6年間。全容が謎だらけ、パズルのピースを日々埋めていく作業から見えてきた事実を参加者皆さんと共有していきます。

11時40分 質問票の提出

休憩 12時～13時

【午後の部】

13時10分～質問に答えて

13時30分～当事者からの事例報告4事例予定

「『虐待かも』で親子分離、児童と家族が背負うその後の不利益とその原因を探る」

- ① 一時保護経験と保護解除後の心身の不調、親子分離がもたらしたものを児童が振り返る
- ② 施設からの脱走、保護所からの脱走経験を有する児童からの報告 2事例
- ③ 第三者専門機関として児童の権利擁護に取り組む役割を持つ児童福祉審議会にて、児童が意見を述べ家族再統合を求めたその結果

15時～医療からの提言 黒木宜夫 精神科医

「行き過ぎた親子分離解決のために、医師として今、何ができるか？」

児相に保護された直後の自死未遂事例、親子分離がどのように児童の精神を崩すか、多くの児童を診療している経験から、精神科医として児童相談所による行き過ぎた親子分離がもたらす影響を解説いただきます。また、医師の診断書で有罪・無罪を決定する、児童の措置を決定するという現状に対し、医学はその役割をどう果たせるのでしょうか？

15時25分～子ども家庭庁への要望書読み上げ

15時30分～16時30分 会場内交流

16時30分 閉会